

# Supported

## by Unisys

東京ディズニーリゾート®編



## 雨上がりのサプライズ 「カストーディアルアート」

このコーナーでは、当社がスポンサーとして協力させていただいているお客様や団体の活動を紹介します。今号は、東京ディズニーランドと東京ディズニーシーの雨の日のサプライズなサービス「カストーディアルアート」について、株式会社オリエンタルランドの運営本部 カストーディアル部アシスタントマネージャーである阪本文奈様にお話を伺いました。

がっかりしているゲストを  
笑顔に変える「サプライズ」

雨の日ならではのパークの楽しみ方の1つ「カストーディアルアート」をご存じでしょうか。「カストーディアルアート」は、カストーディアルキャスト(清掃やゲストの案内担当)が雨上がりなどに、水たまりの水を絵の具代わりにトイブルーム(ほうき)を使って地面に描くアートです。

はじめは2006年頃。雨が降ってパレードが中止になったゲストの気持ちを「少しでも楽しい思い出に変えていただこう」というカストーディアルキャストの自発的な発想がきっかけでした。

以来、ゲストにもっと喜んでいただきたいという思いからサプライズなサービスとして定着しています。

アートを描けるキャストを増員し、より多くの人にハピネスを

1人のキャストがゲストに喜んでもらうと描いたアートは、今やさまざまなカストーディアルキャストに広がり、現在は描くキャラクターも約50種類に及んでいます。ゲスト

から「こんなキャラクターを描いてほしい」というリクエストがあれば、それに応えることもあります。

しかし、あくまでも「雨上がりのサプライズ」なので、いつでも出会うわけではないです。キャストは各エリアのテーマに合わせたものだけでなく、ゲストの安全を確保できる場所では描かないというルールもあります。加えて、「カストーディアルアート」はキャスト全員が描けるものではありません。特別にトレーニングを受けたキャストのみが初めてゲストの前で披露することができるとのことです。

今後、より多くのゲストに、サプライズなハピネスをお届けできるように、「カストーディアルアート」を描けるキャストを増やしていきます。



ミッキー  
マウス



マイク

© Disney / Pixar



チシャ猫

### ご担当者の声



株式会社オリエンタルランド  
運営本部 カストーディアル部  
アシスタントマネージャー

阪本 文奈 様

「カストーディアルアート」は、水で描くアートですから、すぐに乾いてしまう“幻の絵”です。ですからゲストの皆様からもレアな体験としてご支持いただいています。また、晴れている日でも落ち葉や花壇の水で「カストーディアルアート」を描くケースもあります。

キャストたちは、今日も各エリアのテーマに合わせたキャラクターを描くために練習を続けています。パークにいらしたら足もとを見てみてください。もしかしらアートに出会えるかもしれません。

今後も、「カストーディアルアート」に続くゲストへのサプライズとして新しいおもてなしを考えていきます。

※日本ユニシスは東京ディズニーランド/東京ディズニーシーのオフィシャルスポンサーです。